

○山陽小野田市網形成計画の目標と現状値

基本目標1 効果的、効率的な公共交通網

目標1-1	路線バス等利用者数を維持する					
数値目標	市内を運行する路線バス、コミュニティバスの年間利用者数					
目標値	計画策定時 (H26年度)	970 千人/年	現状値 (H28年度)	866 千人/年	最終年度 (H32年度)	970 千人/年
評価方法	事業者からの報告を受け、しがとりまとめ					

目標1-2	鉄道利用者数を維持する					
数値目標	市内各駅の年間利用者数					
目標値	計画策定時 (H26年度)	1,390 千人/年	現状値 (H28年度)	1,377 千人/年	最終年度 (H32年度)	1,390 千人/年
評価方法	事業者からの報告を受け、しがとりまとめ					

目標1-3	効率的な公共交通網を構築する					
数値目標	路線バス等の維持にかかる市民一人当たりの財政支出額					
目標値	計画策定時 (H26年度)	2,082 円/人	現状値 (H28年度)	1,896 円/人	最終年度 (H32年度)	1,835 円/人
評価方法	事業者からの報告を受け、市がとりまとめ					

基本目標2 わかりやすく利用しやすい地域公共交通

目標2-1	公共交通を利用する市民を増やす					
数値目標	市民の公共交通利用率					
目標値	計画策定時 (H27年度)	30%	現状値 (H28年度)	—	最終年度 (H32年度)	50%
評価方法	アンケート調査により、公共交通の利用率を調査					

目標2-2	公共交通のバリアフリー化率を向上する					
数値目標	①市内主要在来線駅（JR小野田駅、JR厚狭駅）のエレベータ設置率 ②市内を運行するバス車両のバリアフリー化率					
目標値①	計画策定時 (H27年度)	0%	現状値 (H28年度)	0%	最終年度 (H32年度)	100%
目標値②	計画策定時 (H27年度)	92%	現状値 (H28年度)	92%	最終年度 (H32年度)	100%
評価方法	各路線の事業主体が保有するデータを市がとりまとめ					

基本目標3 わかりやすく利用しやすい地域公共交通

目標3-1	効率的な公共交通網を構築する					
数値目標	①JR 小野田線・美祢線における回数券、定期券、団体乗車券の購入補助実施件数 ②JR 小野田線・美祢線における社会学習利用助成、イベント支援の補助実施件数					
目標値①	計画策定時 (H26年度)	36件	現状値 (H28年度)	件	最終年度 (H32年度)	50件
目標値②	計画策定時 (H26年度)	4件/年	現状値 (H28年度)	件/年	最終年度 (H32年度)	10件/年
評価方法	市が把握してとりまとめ					

目標3-2	地域の公共交通についてみんなで共に考える					
数値目標	バス等に関する意見交換会や出前講座等の開催件数					
目標値	計画策定時 (H27年度)	2回/年	現状値 (H28年度)	1回/年	最終年度 (H32年度)	4回/年
評価方法	市が把握してとりまとめ					

目標3-3	みんなで公共交通を使った通勤を実践する					
数値目標	事業所モビリティマネジメント等に取り組む事業所の数					
目標値	計画策定時 (H27年度)	0件	現状値 (H28年度)	0件	最終年度 (H32年度)	のべ 10件
評価方法	市が把握してとりまとめ					